

# AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究者による解説とともにお知らせいたします。

## グラフの読み方

### 図1：実質GDPとGDPデフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質GDPの伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDPデフレータ 名目GDPを実質GDPで除した値として計算される。その伸び率は、名目GDPの価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDPデフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

### 図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の関係を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

### 図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したものの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル/本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

### 図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人

アジア成長研究所

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 / TEL：093-583-6202 / URL：<https://www.agi.or.jp>

# 日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

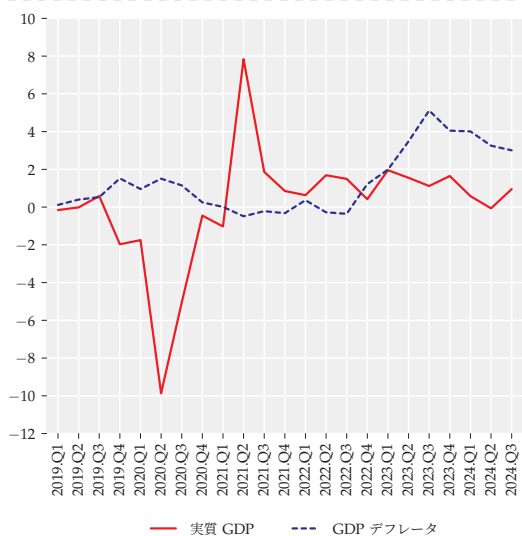


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

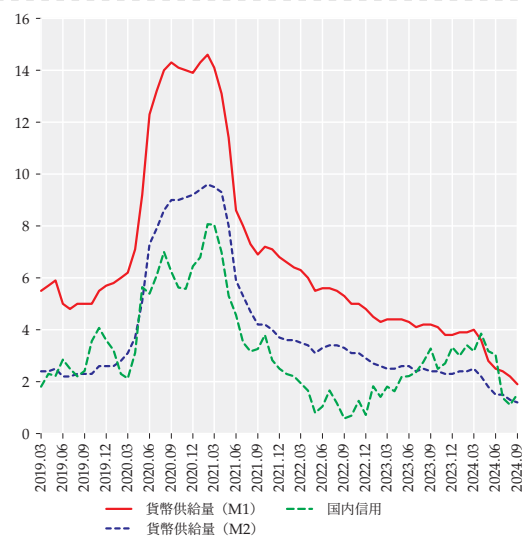
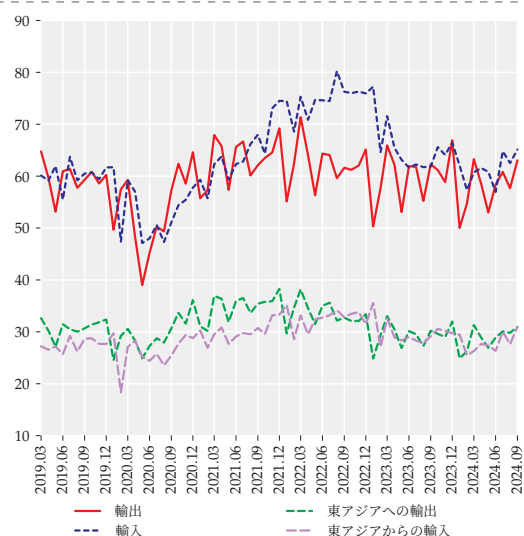


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



## 日本経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期の実質 GDP の伸び率は前期 (-1.1%) から加速し、0.3%となった(前年同期比、速報値)。民間最終消費支出が前年同期比で 0.7%と前期 (-0.6%) よりも加速したほか、民間企業設備投資も 2.4%となり、内需が増加した。物価高の下押し圧力による消費者マインド悪化などのマイナス要因にもかかわらず、賃上げや堅調な夏のボーナスを受け、所得の堅調な増加、自動車の販売増、猛暑や台風、南海トラフ地震臨時情報などによる備蓄需要の高まりなどにより民間最終消費は順調に増加した。輸出および輸入はそれぞれ前年同期比で 1.5%と 4.9%となった。インバウンド需要の拡大などからサービス輸出が高い伸びとなったことや、自動車販売の回復や世界的な半導体需要の回復などが輸出を押し上げた。一方、政府の新たな経済対策による押し上げ効果は、現時点では限定的であるとみられている。力強さには欠けるものの、内需の堅調な増加により、景気の緩やかな持ち直しが続く判断される。(小松 翔)

## 中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

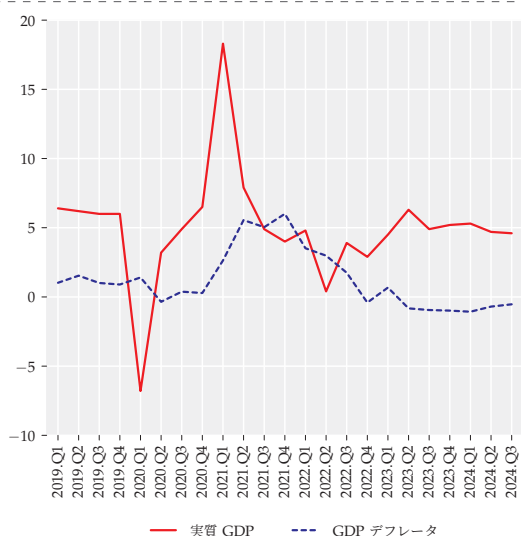


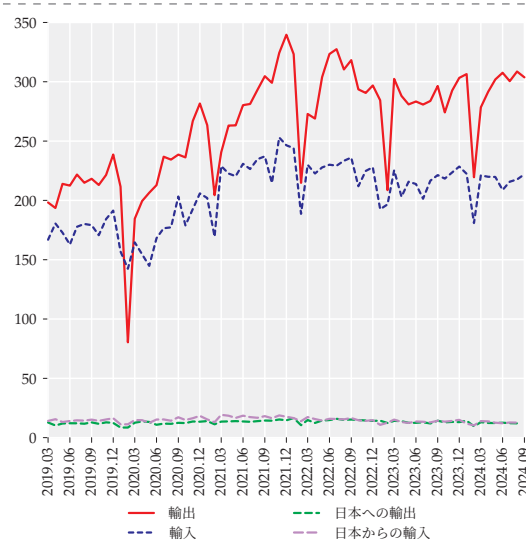
図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 中国経済の動向 (2024年第3四半期)

第3四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比、以下同じ）は、前期の 4.7 % からやや鈍化し、4.6 % となった。2023 年第 2 四半期から 6 四半期連続で名目 GDP の伸び率が実質を下回っており、デフレ圧力を示し続けているが、2024 年 2 月から CPI 上昇率がプラスを維持しており、デフレ圧力は緩和されている。1 月から 9 月通算での実質 GDP の伸び率は 4.8 % となったが、5 % の GDP 伸び率目標の達成に向け、財政刺激策・金融策・不動産刺激策が相次いで打ち出されている。支出側から見た成長率への貢献度は、国内最終消費が 29.3 %、固定資本形成が 27.8 %、純輸出が 42.9 % であった。若年層を中心とする雇用市場の不振の影響を受け、家計消費をはじめとした内需の伸びは緩やかで、力強さを欠いた推移を見せている。製造業とインフラ投資がプラスの成長を示したが、不動産投資は依然として低迷している。複雑な国際貿易情勢の中で、対外貿易が回復しつつあり、特に電子製品や輸送用機器の輸出が好調である。 (彭 雪)

## 香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

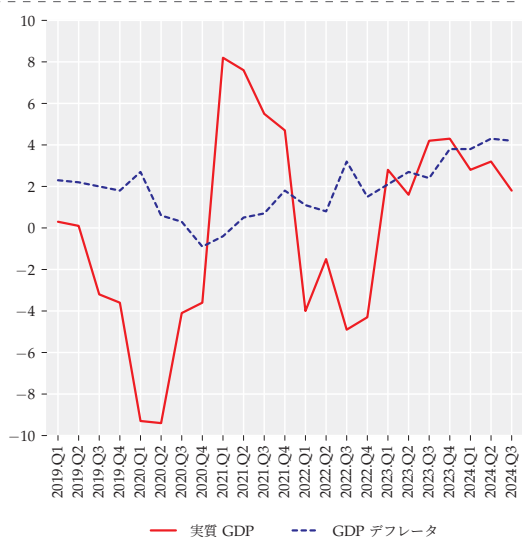


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

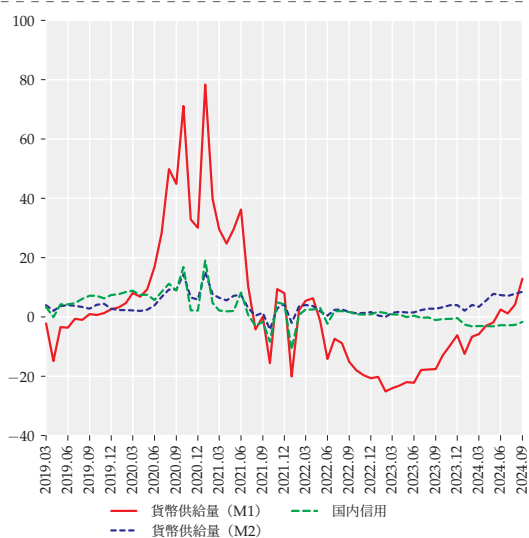
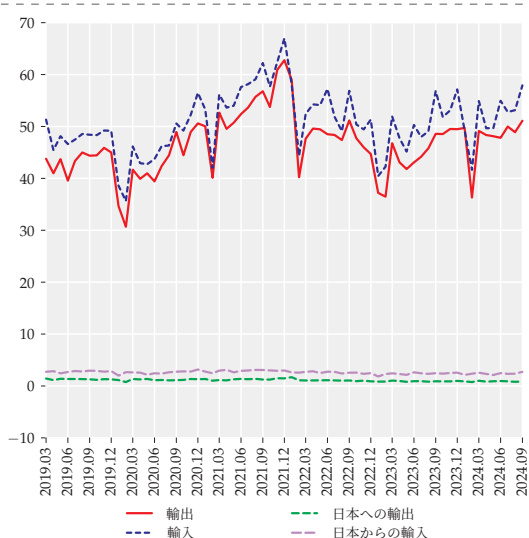


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 香港経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期の対前年同期比実質 GDP 伸び率は1.8%で、第2四半期の3.2%からやや減速した。第3四半期のGDP支出側構成別成長率(対前年同期比)をみると、民間消費は-1.3%と引き続き縮小した(第2四半期は-1.6%)が、政府消費は2.1%増加した(第2四半期は2.2%増)。また、固定資本形成は3.7%増と第2四半期(4.1%増)からの強い回復傾向を保っている。一方、第3四半期の香港の貨物輸出は、主に中国本土や米・欧市場の需要牽引で、第2四半期の7.5%増から幾分減速したものの、引き続き好調で4.0%伸びた。サービス輸出も、金融・ビジネス・輸送などセクターの堅調で2.4%増と拡大し続けている(第2四半期は1.1%増)。なお、第3四半期の失業率と消費者物価上昇率は、それぞれ1.2%と1.1%で安定な低水準を維持している。香港政府統計処は11月15日に、2024年通年の実質 GDP 成長率の予測値について、2.5%と公表し、8月に公表した予測値(2.5~3.5%)をやや下方修正した。(戴 二彪)

## 韓国経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

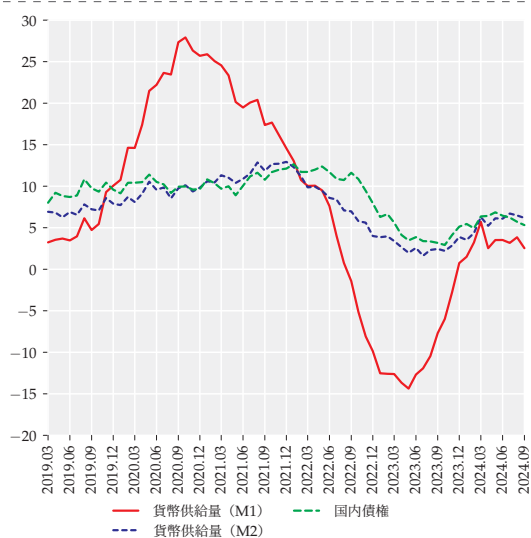
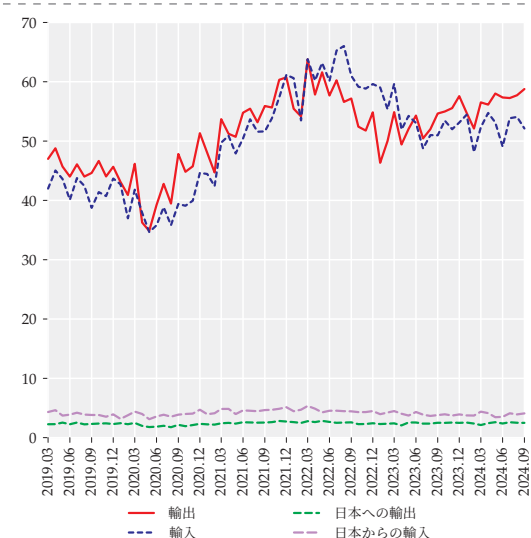


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 韓国経済の動向 (2024年第3四半期)

韓国の2024年第3四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は1.45%で、前期から約0.8ポイント低下した。9月末の株価指数は2,593.27、1米ドル=1334.82ウォンであった。株価は下落し、ウォン相場は上昇した(今年6月末の同指標は2,797.82, 1380.13ウォン)。また、9月の消費者物価指数(CPI)は114.65で、伸び率は1.60%であった。CPIの伸び率は昨年末から3%を維持していたが、4月以降低下し始め、9月には2%を下回った。第3四半期のインフレ率の低下は、主に昨年末の原油価格下落によるベース効果によるものである。外需は、輸出の伸び率が7月に13.5%、8月に11%に達したが、9月は7.5%に落ち込んだ。今後の全般的な成長軌道は、世界の貿易環境、半導体輸出の動向、内需の回復ペースに大きく左右されると予想される。さらに、最近の戒厳令問題が政治的安定や社会経済環境に与えた影響も、将来の経済成長に影響を与える可能性があるため、留意する必要がある。(柯 宜均)

## 台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

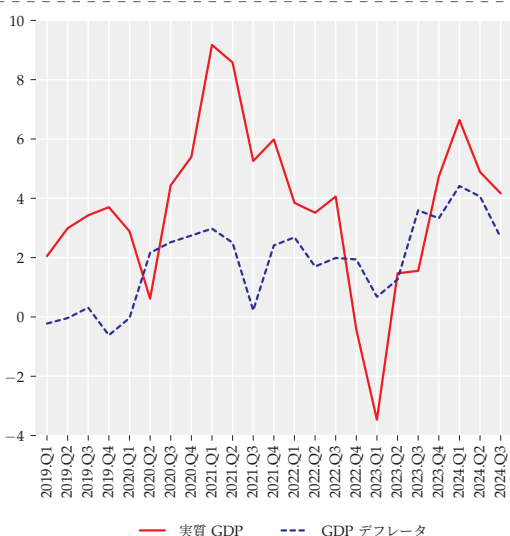


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

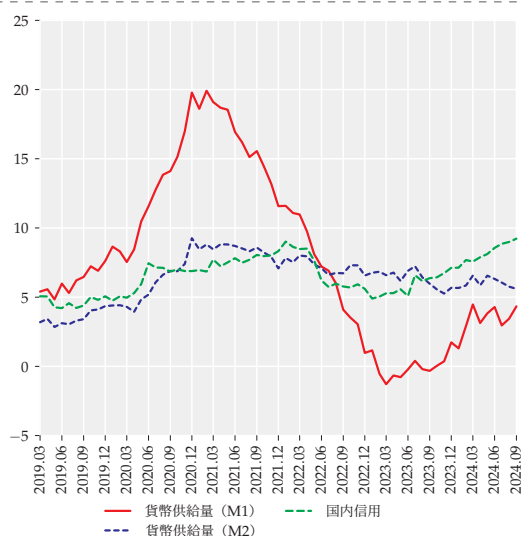


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

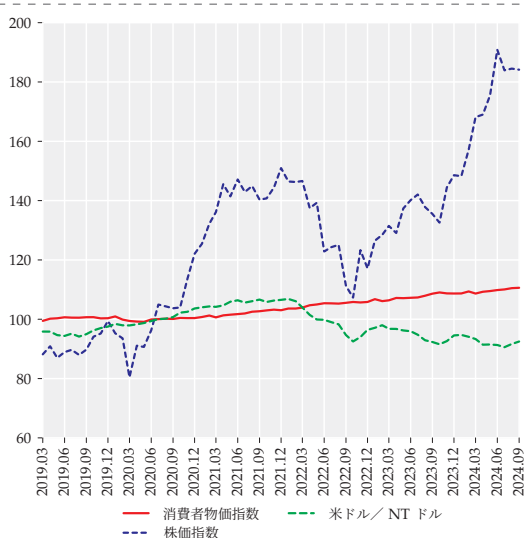
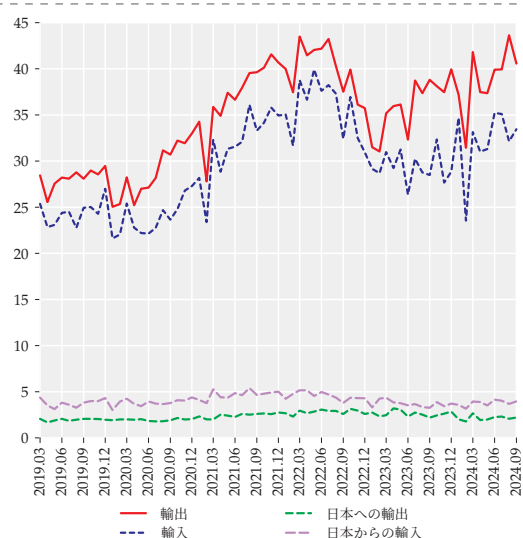


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 台湾経済の動向 (2024年第3四半期)

台湾の2024年第3四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は4.17%で、前期の4.89%から約0.7ポイント低下した。9月末の株価指数は22,224.54、1米ドル=31.98台湾ドルであった。株価は下落し、台湾ドル相場は上昇した(今年6月末の同指標は23,032.25、32.39台湾ドル)。国際貿易では、輸出の伸び率が前期の9.90%から約2ポイント低下し、8.04%となった。一方、輸入の伸び率は15.07%を記録し、前期からの上昇傾向を維持した。輸出は前期より減少したとはいえ、政府の当初予想を上回り、実際には20億米ドルの増加となった。これは、AI 応用技術や情報通信製品の需要が引き続き旺盛であったためである。このような経済状況から、多くの国際的大企業が相次いで台湾への追加投資を発表している。その例として、研究開発センターやデータセンターの設立が挙げられ、台湾内部の生産と研究開発能力のさらなる拡大に貢献することになるだろう。(柯 宜均)

## インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

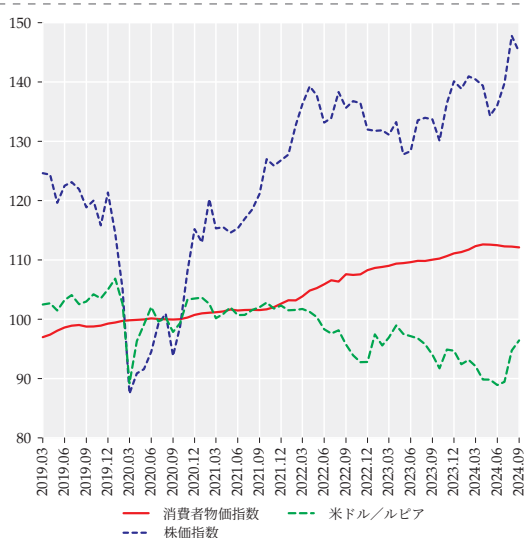
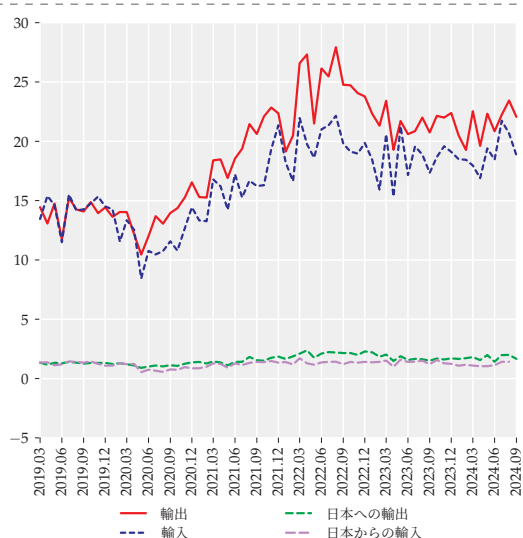


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インドネシア経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比で 5.05 %となった。1年ぶりに 5 %を下回ったものの、高い成長率を維持している。GDP の 2 分の 1 を占める家計最終消費支出が前期 (4.93 %) からやや鈍化しながらも 4.91 %と堅調な成長を維持したほか、総固定資本形成が前期 (4.43 %) から加速し 5.15 %増に、輸出も (8.18 %) から加速し 9.09 %増となった。産業別に見ると、GDP のおよそ 2 割を占める製造業が 4.72 %、建設業が 7.48 %とそれぞれ前期から加速した。一方で、宿泊・飲食業 (8.33 %) と運輸・倉庫業 (8.64 %)、情報・通信業 (6.86 %)、金融・保険業 (5.49 %) はいずれも前期から減速した。3月に 3.04 %であった物価上昇率が、4月以降7カ月連続で下落し、10月には 1.78 %となった。中央銀行が設定したインフレターゲット (1.5~3.5 %) の範囲には収まっているが、およそ 3年ぶりの低水準である。鈍化した消費を刺激する金融政策が求められるが、米国の利下げも予想されており、その動向が注目される。(田村一軌)

## マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

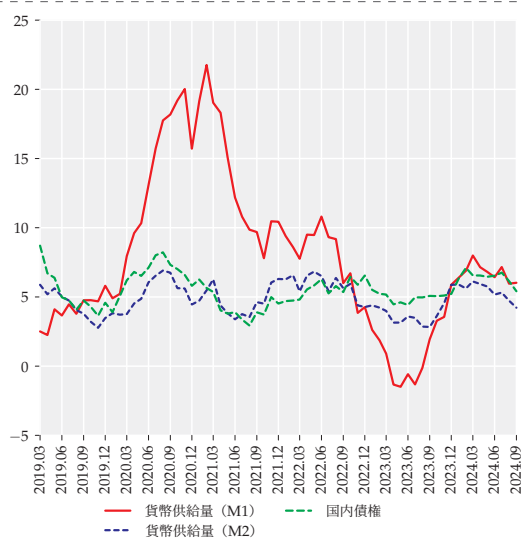


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

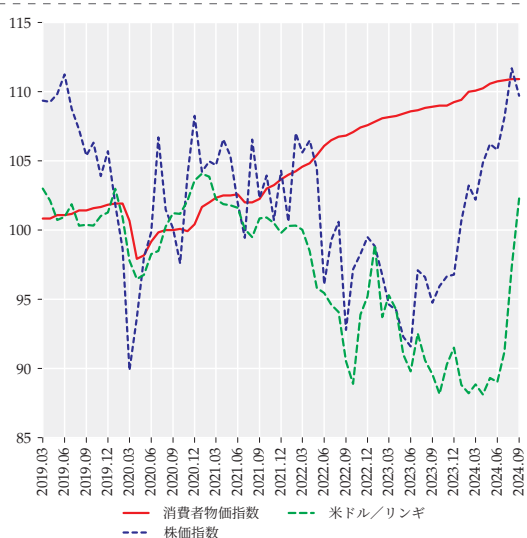
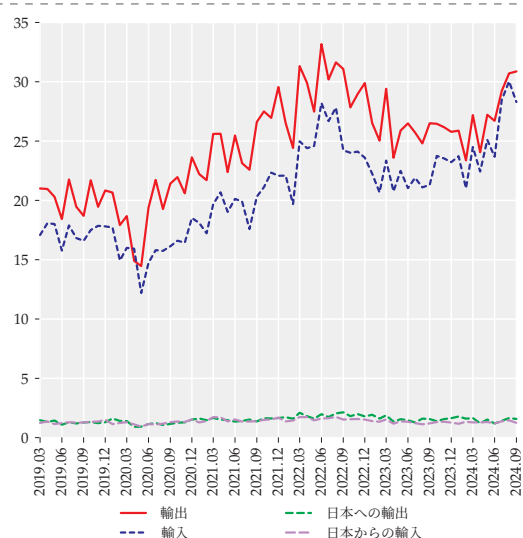


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### マレーシア経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期の実質 GDP 成長率は、堅調な投資活動と輸出の継続的な改善により 5.3% となった。輸出は、外需の回復と世界的な技術サイクルの好循環によるプラスの波及効果を背景に堅調に推移した。一方輸入は、投資と貿易の増加を支える資本財と中間財の需要が堅調だったことから、より速いペースで増加した。リングgitは米ドルに対して前年比で 3.1% 上昇した。また、総合インフレ率とコアインフレ率はともに 1.9% (前期は 1.9%) で安定している。民間非金融部門への信用の伸びは、企業向け融資残高と社債残高の伸びが鈍化したことにより緩やかになった (4.8%、前期は 5.5%)。家計向け融資は、住宅や自動車の購入向け融資に牽引され、堅調に伸びた。国内では、民間部門と公共部門における複数年にわたるプロジェクトの進展により、投資活動が支えられるだろう。対外的には、進行中の世界的な技術革新、製造品や商品に対する継続的な強い需要、観光客の支出増加により、輸出が増加すると予想される。(アルバロ・ドミンゲス)



## フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

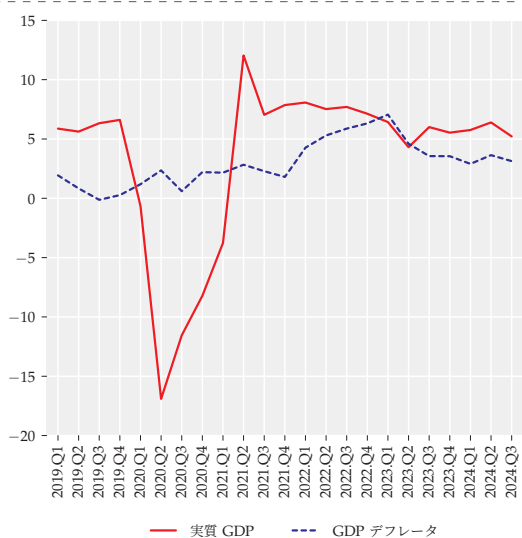


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

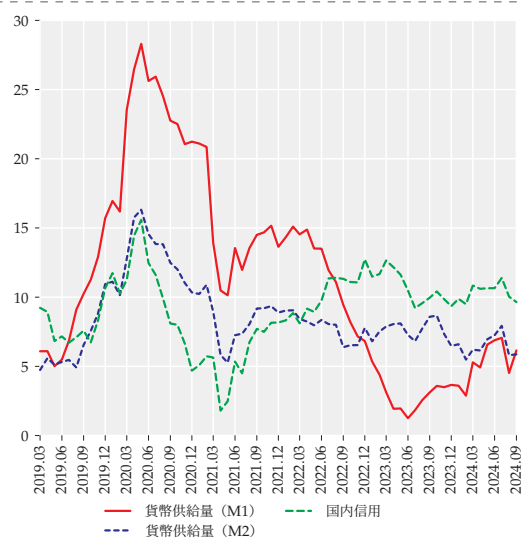


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

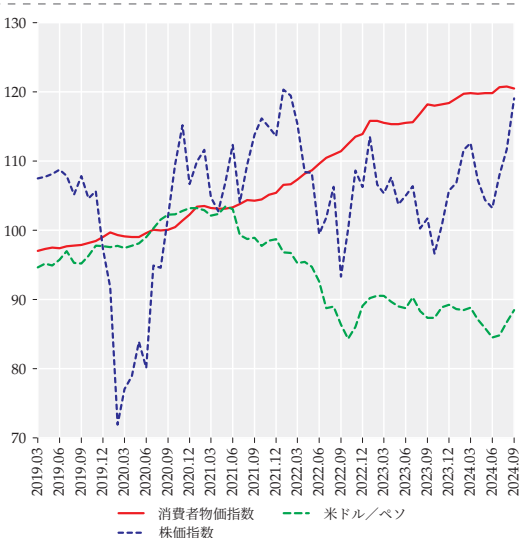
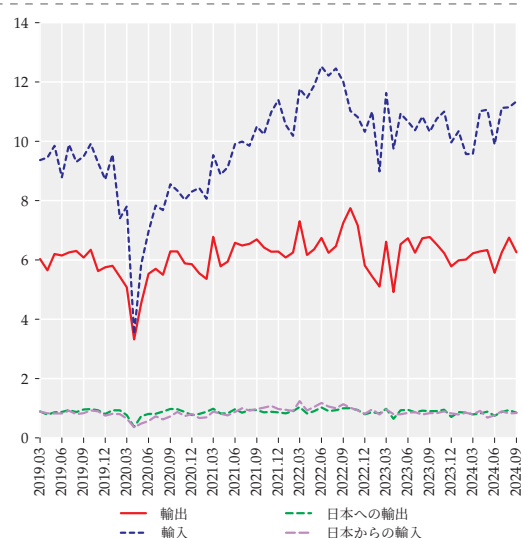


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### フィリピン経済の動向 (2024年第3四半期)

フィリピン経済の実質 GDP 伸び率は、2024年第1四半期は5.8%、第2四半期は6.4%、第3四半期は5.2%とやや減速した。2024年第2四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、GDP の73%を占める民間最終消費支出は5.1% (前期は4.7%) と増加し、他方で政府最終消費支出は5.0% (前期は11.9%) と大幅に減少した。総固定資本形成も7.5% (前期は9.7%) と減少した。財・サービスの輸出は-1.0% (前期は4.2%) と下落し、財・サービスの輸入は6.4% (前期は5.3%) と増加している。第2四半期の伸び率を産業別にみれば、第一次産業は-2.8% (前期は-2.3%) と一層下落し、第二次産業も5.0% (前期は7.9%) と鈍化した。GDP の66%を占める第三次産業も6.3% (前期6.8%) とやや鈍化した。その中で、保健衛生及び社会事業が11.9%、宿泊・飲食業が10.7%、金融・保険業が8.8%、専門・ビジネスサービス業が8.3%と堅調に推移した。

(岸本千佳司)

## シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

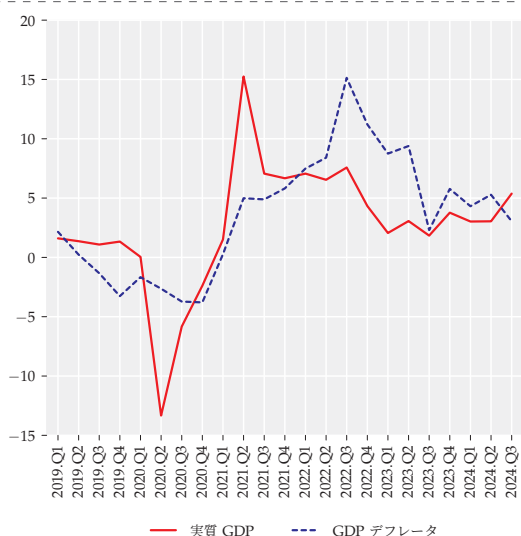


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

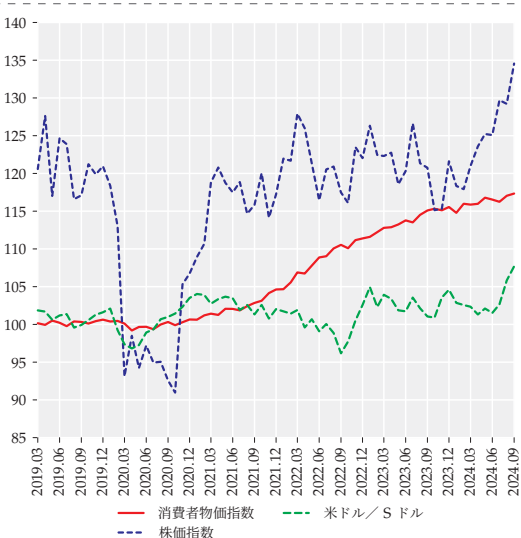
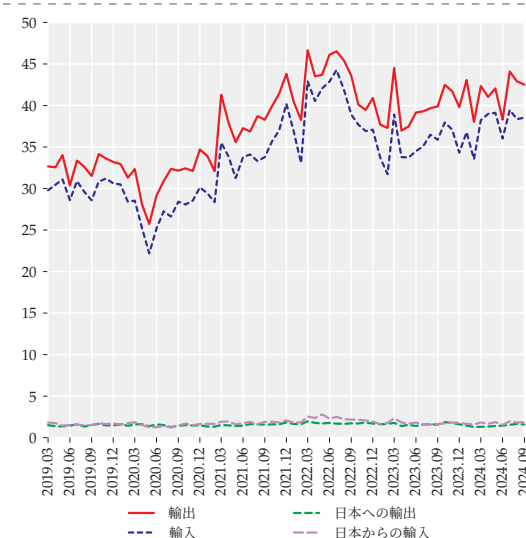


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### シンガポール経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期の実質 GDP は前年同期比で 5.4 %増加した。製造業は 11.0 %拡大し、前期の 1.1 %の縮小から反転した。この部門の好調な業績は、スマートフォンや PC 向け半導体チップに対する強い需要に支えられ、力強く成長した電子機器クラスターに牽引された。建設部門は前年同期比で 3.7 %増となり、前期 (4.8 %増) の傾向を継続した。民間部門の建設生産量の減少を上回る公共部門の建設生産量の増加によって、建設生産量が増加し、これを牽引した。卸売部門は 4.9 %成長したが、小売部門は 0.7 %減少した。米国やユーロ圏などの主要経済国、およびマレーシアなどの一部の地域経済は、主にそれぞれの経済における予想を上回る消費の伸びにより、2024年第3四半期に予想を上回る業績を上げた。一方、中国の GDP 成長率は、前期に引き続き減速した。シンガポール通商産業省 (MTI) は 2024 年の GDP 成長率を約 3.5 %、2025 年を 1.0~3.0 %と予測している。

(アルバロ・ドミンゲス)

## タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

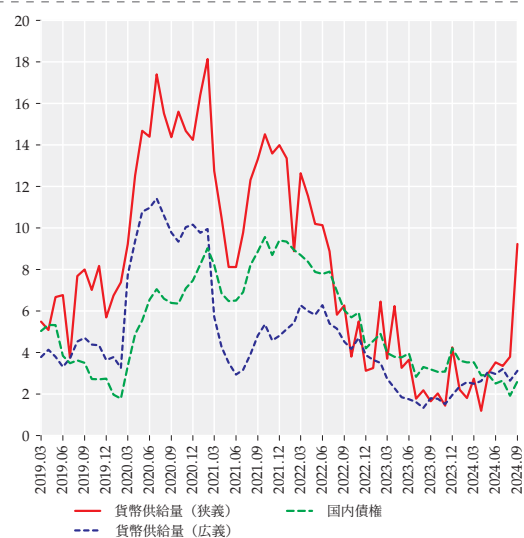
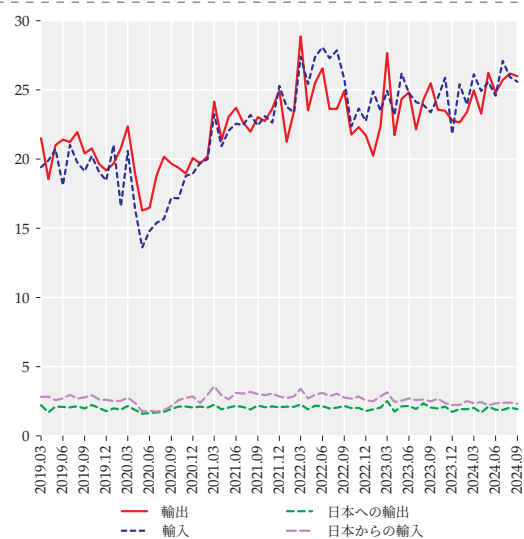


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### タイ経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期の実質 GDP は、前年同期比 3.0 % 増となった。第2四半期の 2.2 % から成長が加速し、季節調整済み前期比でも 1.2 % 増を記録した。支出面では、公共投資が6四半期ぶりにプラスに転じ、財・サービス輸出、政府消費支出も好調な伸びを示した。一方で、民間消費は減速し、民間投資は縮小した。生産面では、宿泊・飲食業 (8.4 % 増)、運輸・倉庫業 (9.0 % 増) が堅調な伸びを示し、建設業は4四半期ぶりに 15.5 % 増と大きく回復した。製造業も 0.1 % 増とわずかながらプラスを維持した一方、農業部門は引き続き減少傾向となった。貿易面では輸出が 772 億米ドルで 8.9 % 増、輸入が 714 億米ドルで 11.3 % 増となり、58 億米ドルの黒字を計上した。経済の安定性を示す失業率は 1.02 %、インフレ率は 0.6 % と安定的に推移している。インバウンド観光を含む輸出が引き続き成長を牽引する見込みで、国家経済社会開発委員会 (NESDC) は 2024 年の成長率の予測値を 3.8 % へ上方修正した。(姚 瑩)

## ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

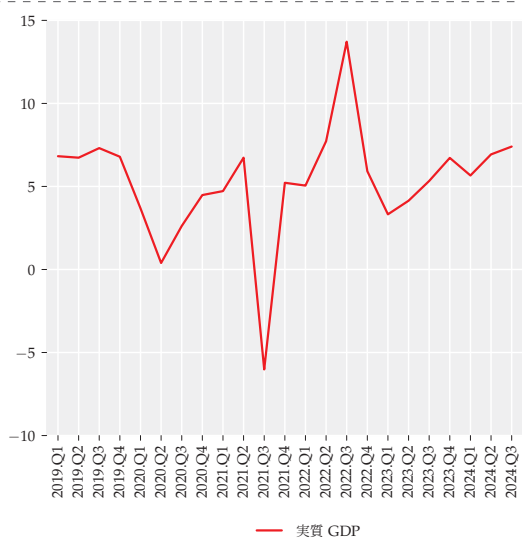


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

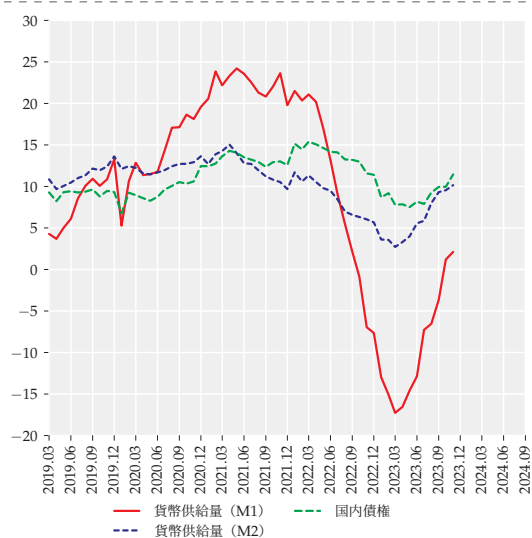


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

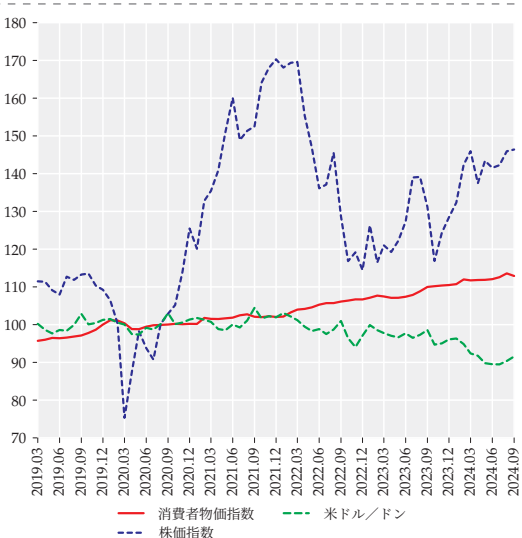
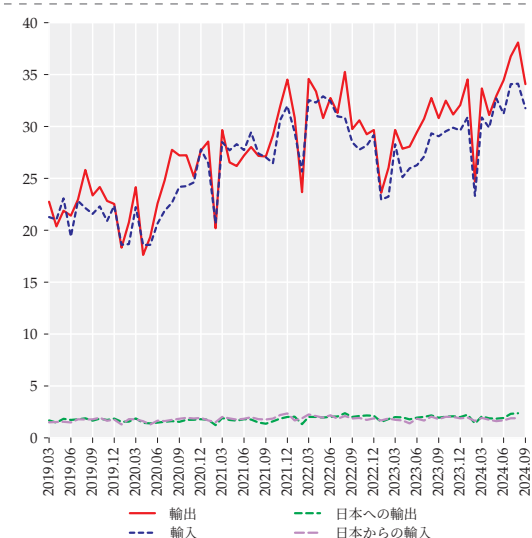


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



### ベトナム経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期のベトナム経済は、多様な分野での顕著な成長を示した。1～9月の工業生産は前年同期比で8.34%増加し、特に加工・製造業が9.76%の成長率を記録した。電力・上下水道セクターも堅調な成長を見せた一方、鉱業は7.01%減少した。企業活動は活発で、新規および再開企業が18.3万社を超え9.7%増加したものの、市場から撤退する企業数も21.5%増加し16.4万社となった。消費財とサービスの小売売上高は8.8%増加し、旅客および貨物輸送も強い成長を記録した。通信収益は4.2%増加し、国際観光客は43.0%増加して観光業の回復を示した。総決済額や金融機関の資本動員は緩やかな拡大を見せ、保険市場の総保険料収入はわずかに減少した。また、国内社会投資総額は6.8%増加、外国直接投資額は11.6%増加した。一方で、ベトナムの海外投資は大幅に減少した。全体として、第3四半期のベトナム経済は一部課題もあるものの、概ねポジティブな成長を示した。

(グエン・フン・トウ・ハン)

## インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

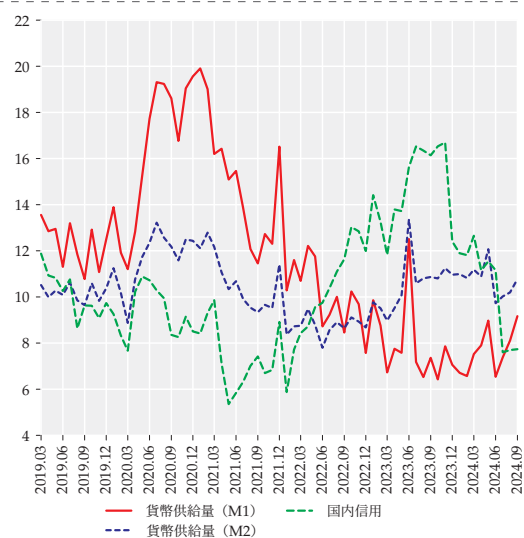


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

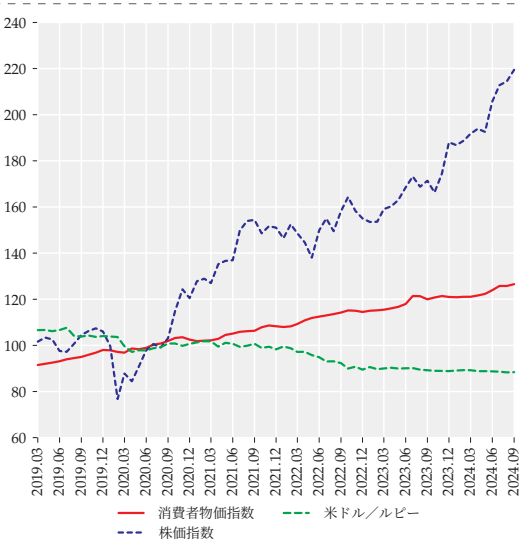
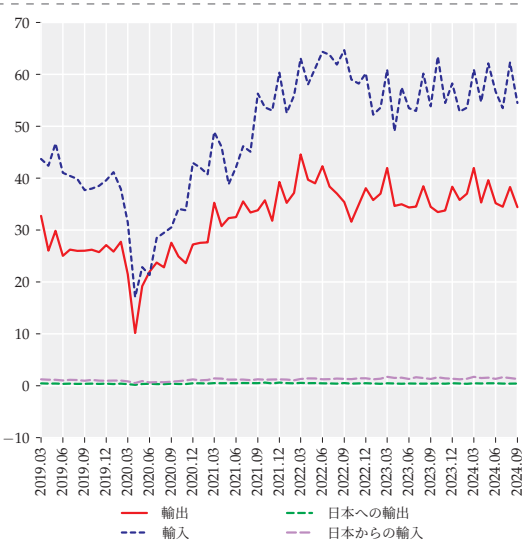


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インド経済の動向 (2024年第3四半期)

2024年第3四半期のGDPは、前年同期比5.4%増となり、インド準備銀行(RBI)の予測値6.8%を下回る結果となった。実質総付加価値(GVA)も5.6%増と、前年同期の7.7%から伸びが鈍化している。政府のチーフエコノミストであるNageswaran氏は、この減速は一時的なものだと述べている。セクター別では、製造業が前年同期の14.3%増から2.2%増へ急減速し、鉱業は11.1%増からマイナス0.1%へと悪化した。一方、農業関連部門は3.5%増と回復し、サービス部門は7.1%増と堅調な成長を維持した。建設部門も7.7%増を記録した。需要面では、民間最終消費支出が前年同期の2.6%から6.0%増へ改善し、政府最終消費支出も4.4%増と回復傾向を示した。ただし、設備投資を示す総固定資本形成は5.4%増と6四半期で最も低い伸びにとどまった。4~9月期全体では、GDPが6.0%増、GVAが6.2%増を記録した。RBIは年度通期で7.2%の成長を予測し、財務省も6.5~7.0%の成長を見込んでいる。(姚 瑩)

## 図に関するデータの出所および注

### 日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

### 中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

### 香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *List of All Statistical Products* ([https://www.censtatd.gov.hk/en/page\\_1273.html](https://www.censtatd.gov.hk/en/page_1273.html))
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

### 韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

### 台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cl.aspx?n=2332>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cp.aspx?n=2327>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

### インドネシア：

- 図 1 Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=531>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=536>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 4 Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *National Export Import Data* (<https://www.bps.go.id/en/exim>)

### マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/publications/mhs>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

## フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/statistics/national-accounts>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

## シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；シンガポール金融管理局が2021年7月から統計の集計方法を変更したため、それ以降2022年6月までの前年同月比を計算していない。
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

## タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council, *National Account* ([https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national\\_account](https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national_account))
- 図2 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/monetary-statistic.html>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (<http://www.price.moc.go.th/en/Default5.aspx>)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/statistics/market-statistics/main>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)

## ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

## インド：

- 図1 India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, *RBI Bulletin* ([https://www.rbi.org.in/Scripts/BS\\_ViewBulletin.aspx](https://www.rbi.org.in/Scripts/BS_ViewBulletin.aspx))
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：India, Ministry of Commerce and Industry, *System on India's Monthly Trade* (<https://tradestat.commerce.gov.in/meidb/>)